



ぬまづ郷土ゆかりの女性文学者たち

カルテット

WELCOME!

ぬま^{じょ}女文学四重奏

沼津市在住の歴史小説家

秋山香乃



静岡新聞社 2019.9 (1階一般)

今川氏真は東海一の名門の家を滅亡させた暗愚な君主？？だったのか……

「氏真は、幼少のころから、己が人と大きく違っていることを、強く意識せずにいらなかった。争いは嫌いであつたし、猛々しくなりたいとも思わなかった。」

父義元を失い、戦乱の世を生きていく氏真に追い打ちをかけるように、松平元康（徳川家康）の離反、武田信玄の駿河侵攻、さらに多くの武将からの裏切り、氏真は駿府を守りきれず懸川城へ向かう。

「死ぬより生きて後始末に奔走する方が何倍も大変だと、氏真は身に沁みて知っている。」

懸川城で抵抗を試みるが、ついに家康に開城。北条氏の庇護のもと大平城へ。

氏真は妻の兄北条氏政の子氏直を養子に迎え、ここに駿河国の支配権を失う。

大平城で武田勢と対峙、妻を実家である相模国に行かせる。

「これをわしの形見とせよ。」「これなら、失くすこともない。持ち運ぶ必要もない。見たくなったら、望に水を張ればよい。わしは奪われるだけの人生じゃった。されど月はだれにも奪えぬ。」

ずっと於志寿のものじゃ」

氏真も相模国早川に移るが、氏政が信玄と和睦したため、妻を伴い家康を頼り浜松に。

この時期、父義元を討った織田信長の前で蹴鞠を披露する。

「俺の矜持は、俺についてきた者たちを守ることにこそあるのだ。あの忠義者たちを地獄に落とすことに比べれば、信長の前で鞠を蹴ることなど、どうということもないわ」

のちに氏真は出家して「宗間」を名乗り、今川惣領の任を終える。そのころ、家康に和歌を送っている。

あきらけき めくみあらなん 天てらすひかりを君に なそらふる代は

天正十年、武田氏が、そして天正十八年、豊臣秀吉の小田原征伐により北条氏が滅亡する。

慶長十九年、今川氏真七十七歳で永眠。氏真の子孫は高家に任じられ、江戸、幕末・明治維新を乗り越えていく。

静岡を戦国武将が駆け巡る！まだまだ続く今川ストーリー！！

次回6月号の
郷土ゆかりの作家は
鈴木英治さんを
特集します！

末吉暁子

「がんこちゃん」の児童文学作家

「わたしは、三歳から高校卒業までを、沼津市のはずれの片浜という海沿いの田舎町ですごしました。～この物語では、架空の地名をあてましたが、いちようの茂る神社や、海への風景は、そのあたりから借りてきました。わたしにとっては、いまだに夢の中にあらわれるほど、親しい風景だからです。」

『星に帰った少女』あとがきより 偕成社 1977

講談社の編集者時代に佐藤さとるさんの「試しに書いてみたら」がきっかけで、児童文学作家の道へ。

これからたくさんの方に、末吉ワールドを楽しんでいただきます。末吉暁子さん、ありがとう。

「大瀬の岬の向こうからのぼり、駿河湾をまたぎ越えて富士のお山のふもとに沈んでいく陽を、何度ながめたことだろうか。」

理論社 2008.6
(1階児童)

町田志津子

詩人。沼津高等女学校（沼津西高等学校）の卒業生。県内の高等学校で教えながら

詩人としても活動し、「蛇松緑道」「風の街 沼津」など沼津について書いた随筆も多く残している。

宇佐見りん

『推し、燃ゆ』で

第164回芥川賞を受賞。

応援しています！



本はとても偏つきやすいんです。

ドッグイヤーや
読了の目印の書き込みボールペンやマーカーでの
書き込み飲み物をこぼした
シミ汚れお菓子の食べかす・油分
によるシミ汚れよくある
汚破損の事例雨の日は
ビニール袋に入れてね。

水濡れ

タバコなどの臭い

あなたの次に読む人のことを思って
本を大切に扱ってください。

返却期限を守りましょう。

あなたが借りている本が返却されるのを待っている人がいます。

延長の手続きは窓口、電話、インターネットでできます。

返却は各地区センター図書室、自動車文庫でもできます。

本を大切に扱いましょう。

あなたの次にその本を借りる人が気持ちよく読めるように
書き込み・切り取りはしないのはもちろんのこと、
水濡れや汚れにも気を付けましょう。ページ破れ（はずれ）も、自分で補修せず、
図書館員に相談してください。図書館を利用するうえで
大切なマナー

年代	できごと
古代	海岸地域に集落が発達(長井崎遺跡) 淡島遺跡 長浜神社で祭祀が始まる タカオさん 縄文土器(長井崎遺跡)
	1579年(天正7) 長浜城に北条水軍がおかれる 1580年 沼津沖で武田・北条水軍の海戦が始まる 安宅船が活躍 江戸時代のころから、重寺・小海・三津・長浜・重須の5ヵ村が内浦と呼ばれるようになる
	1889年(明治22) 君沢郡(くんたくん)内浦村が発足 1930年 中之島水族館が開業(三津シーパラダイスの前身) 日本初のバンドウイルカの飼育が始まる
武士の時代	1932年(昭和7) 渋沢敬三が三津の松濤館滞在中に大川家の古文書を発見する 1940年 淡島に海軍音響兵器部臨海実験場が置かれる(昭和15) 1947年 太宰治が三津の安田屋旅館に滞在し、小説『斜陽』を執筆 1955年(昭和30) 沼津市と合併 2016年(平成28) アニメ「ラブライブ!サンシャイン!!」放送開始 聖地巡りが人気に
	安田屋旅館 松棟・月棟

長浜城跡

長浜城は戦国時代に関東を治めた北条氏の水軍

の城です。北条氏はここに水軍の主力をおきました。城跡は昭和63年に国の史跡に指定され、史跡公園として整備されました。



図書館3Fに展示中の復元模型

安宅船 (あたけぶね) 戦国時代後半から活躍した大型の軍船です。全長25m程と推定されています。北条氏は10艘を戦力としました。

豆州内浦漁民史料

長浜の旧津元大川家に伝わる豊臣秀吉の朱印状をきっかけに渋沢敬三が発見しました。内浦を中心に収集された古文書は漁村関係文書として貴重な史料です。

ラブライブ!サンシャイン!!

スクールアイドルを目指す高校生の友情と成長の物語。内浦の学校が舞台です。アイドルグループ「Aqours」は第25期から3期続けて燦々ぬまづ大使を務めています。

地名の由来 (その19)

-旧内浦村地区-

内浦地区とは

淡島と長井崎に囲まれた内浦湾

に面する地域をさします。



重寺(しげでら)は、2つの寺が重なって見えることから付けられたといわれています。**小海**(こうみ)は、三津の向い側なので向海(むこうみ)、やがて「こうみ」となり小海に転じました。**三津**(みと)は、鎌倉時代の豪族三戸氏の出身地から三戸、そして三津となりました。**長浜**(ながはま)は、長い浜辺に面した土地からついた地名です。**重須**(おもす)は、この地にとって重要な洲が面(おもて)にあることから重洲(おもす)、やがて重須となりました。

*地名の由来は諸説あります。



内浦漁港祭 勇み踊り

うごくえほんって、動画みたい!

うごくえほんを開くと「みる」と「よみきかせ」のボタンを発見! 「みる」は字幕なし、「よみきかせ」は字幕ありで再生。絵が動いて音楽も流れるので、動画を見るのと同じような感覚で楽しめました!

読んだ本:『ちいさなごるり』松居スーザン

写真や絵を細かいところまで見たい!

拡大機能を使ってみたら、金魚の鱗の部分まで鮮明に表示されたので、画質の良さに驚きました。パソコンよりスマホやタブレットのほうが拡大の操作が簡単でした!

読んだ本:『ときめく金魚図鑑』

好きなページから読みたい!

目次がとても長いので飛ばして最初から読みたい…。そこで、目次の「第一部」をクリック・タップして本文の最初に飛ぶと、スムーズに読めました! 目次は、左上のメニューボタンからいつでも表示して、好きなところに飛ぶことができました。

読んだ本:『古代史の謎100問100答』関裕二

読む本に迷ったので特集から選んでみた

同じテーマの本が並んでいるので、読みたい本が見つけやすいです。眺めるだけでも楽しめます! トップに表示される5点以外にも、各特集の下部「〇〇をもっと見る」から、さらにたくさんの本を見ることができました。

#ぬまづ電子図書館 使用感しぽ



音声読み上げ機能を

試してみた!

昔の文学作品を読んでみたいけど、文章が難しくて読み進められない場合の補助ツールとして、使えると思います! 人名などで漢字の読み間違いはありますがそこはご愛敬。

読んだ本:『星』岡本かの子

全体のどのくらい

読んだか知りたい!

読んでいるときに、画面の下の方をクリック・タップすると、スライダーが表示されるので便利です!



ここに表示されます!